

教師の発問	子どもの発言・反応
<p>○さあ皆さんあちらを見てください。この単元で色々な学習をしてきました。色々な問題が世界にはあり、色々な対策があることを皆さんで見えてきましたよね。それで、ある問題だけまだ解決されていません。何ですか？</p> <p>○そうだよね。 「わたしたちもなんかやっぱやらなきゃだめなんじゃないか」という話がありました。 それで、「いいじゃん？」て言ったら、「いや、僕たちだってやらなきゃ」とか言っていましたね。 ということで、今日は私たちが世界の課題に対してできることを考えていきたいと思います。</p>	<p>○わたしたちは何を・・・(教室窓側の掲示を見ながら、前回の授業の最後に出た学習課題を言おうとする)</p>
<p>問い 世界の課題に対してわたしたちはどのようなことができるのだろう</p>	
<p>○黒板に学習のめあてを書く。 「世界の課題に対して」こっから先は何？</p> <p>○ということは、今日のまとめっていうのは、一人ひとり・・・？</p> <p>○違いますね。</p> <p>○さあ前回の授業の最後に、「じゃあみんなの身の回りでSDGsに関係していることあるのかな？」って言ったら、「ストローが使われなくなったり、紙ストローになっていたりするのがそうなんじゃないの？」と言っていたよね。 なんか自分たちでもできることがあったらいいよね。それを考えていきましょう。</p> <p>○これ覚えています？(写真を見せる)</p> <p>○そうだね、これが世界の課題でもあったね</p>	<p>○違う</p> <p>○ああ言っていましたね。</p> <p>○ああ紛争、内戦の・・・</p> <p>○あ、環境の。洗剤のやばい写真。</p>

<p>○これは？ (写真を見せる)</p> <p>○これも覚えてます？ (写真を見せる)</p> <p>○そうだね、水が飲めない子たちも沢山いるんだよ。こういう問題に対して、ユニセフがいたり、そういうユニセフの機関があったりとかする。 そして、国際連合が決めた？</p> <p>○はい。(SDG s の 17 項目の紙を貼る)</p> <p>○SDG s のキーワードって何だったっけ？</p> <p>○そうだね。そして誰一人取り残さないということと、全ての人がそれぞれの立場から行動していかなきゃいけない、これも勉強してきました。 じゃあ、自分たちの立場で何ができるか考えていきたい。そのために、この中で「できそうなもの」と「ちょっと今はまだできないな」と思うものない？</p> <p>○となると、この表の中で、「どれだったら自分たちでできるのだろう」とちょっと考えてみて。 そのために、これを使います。(タブレットのクロスチャートを指す)</p> <p>○さて、17の目標が掲げられています。この中で自分が、「今できること」「今できないこと将来できること」「一人で取り組んでもできること」「みんなで取り組まないとできないこと」これで、1つ1つの目標を、考えてほしいです。 正直調べた中で、分からなかったのもあったでしょ？ちょっとこれ分からないなと思うのはこの表から外してもいいです。まだ、調べられてなくて分かってないから、隅に置いておいて構いません。いい？</p> <p>○さあ、タブレット準備してください。</p> <p>○さあそれではね、3分くらい時間をあげます。自分なりに、「どこかな？」て考え</p>	<p>○ユニセフの。</p> <p>○SDG s . . . ! 17 の . . .</p> <p>○サステイナブルデベロップメントゴール</p> <p>○ある。</p> <p>○おお～。なるほどね。</p> <p>○はい。</p> <p>○タブレットを開き、クロスチャートの準備をする。</p>
--	---

ながら、置いてみてください。で、早く終わった人はどうする？

○そう。「なぜか」まで書き込んでくれると説明しやすくなる。

○ペンで書いてもいいし、打っても構いません。じゃあ、ちょっとやってみよう。

○おおこれは分からんぞ、というのがあったら端に寄せちゃって大丈夫ですよ。

○机間指導。一人一人回り様子を見る。

○はい、そしたらですね、このあと田の字になります。近くになりすぎないように気をつけてください。こっち3人、こっち3人ね。それではどうぞ。

○では、こちらを向いてください。できたところまででいいです。自分はこういう考えでやったよというのを見せて、自分の考えを説明してください。

○これは、人によっては似ているものもあるし、個性的なものもあるね。待っている間に友達のクロスチャートを見ていてください。

○自分の考えを共有してくれる人はいますか？

○では●●さん。

○なぜか？

○ペンですか？

○タブレットのクロスチャートに取り組む。

○むずいな、むずいな

○真ん中に空間を空け対面にならによう田の字の形に机を動かす。

○班に分かれて発表し合う。

(2班)

○ジェンダー平等とか差別的な問題は一人で取り組むといいと思いました。一人一人考え方が違うから。

○クロスチャートの上にある方は、一人だとうにもならないことを選びました。環境問題も、一人じゃできないから選びました。

○8番と13番は分からなかったのどかしました。

○飢餓の問題は将来できることかな。

○17番のパートナーシップはみんなできり組めばできることかな。

(3班)

○飢餓はすぐにお金があれば解決できる。

○町づくりは小さいことだったらできる。

○17番は自分だけではできない。

○ぼくが思うのはジェンダー平等は、同じように接すればいいと思いました。

経済成長は分かりませんでした。

○まず、貧困や技術革新などは将来的かなと思いました。

○●●さんと近いこの辺の方の人いますか。

○なるほどね。聞きながら、自分はこっただなと動かしても全然構わないです。頭の中で移動させるといいかな。では、あと1人くらいどうぞ。

○●●さんどうですか。

○また全然ちがうなあ。はいどうぞ。

○でも、さっきとだいぶ違うよね、今できることを割と●●さんは多く挙げてくれました。ゴミを捨てないとかいうのは1人でもできるんじゃないのということでした。少し動いた人はいる？ここがちょっと動いたという人。●●さん何が動いた？

○ほお。なんでそう思った？

○なるほどね。みんな今からでも始められるんじゃないかと思った。

○他にちょっと変わったなというところある？●●さんどうぞ。

○おおなるほどね。これだったらいけるかもしれない。他はある？

○さあでは皆さんに、タブレットでこれならできそう、これはちょっと将来だなと思うものを考えてもらいました。

○ではタブレットをしまってください。

「パートナーシップ」は、最初は今できるのかなと思ったけど、ロシアとアメリカがバチバチやっているし、ちょっと微妙かなと思って真ん中にしました。国同士で取り組むので上の方の「みんなで取り組む」の方に寄せました。

「6の安全な水」がど真ん中なのは、節水は1人でできるけど、届けるのは端の方なので、真ん中にしました。まあそんな感じ。

○手を挙げる。

○まず「今できる」の方は、1人1人がどうするかだから、例えば、女性をどうみるかだと思うから、これはできると思う。

海の豊かさを守ろうというのは、1人でも取り組めるし、海にゴミを捨てなければいい。俺たちが捨てなければいい。

あとは、豊かさをとということだから海がきれいになるように1人でもみんなでも取り組めばいい。「将来できる」のところはここのご時世コロナが流行っているの、難民に食料を届けようとしても、逆影響だと思う。コロナが落ち着くのは将来だからこうしました。

○「10番の人の差別をなくそう」というところが真ん中であって、みんなでも取り組めるし、1人でも取り組んでもいいし、今も将来もできると思ったんですけど。今やった方がいいなと思って。

○将来将来って言ってたら、今差別を受けている人はどうなるんだということになっていく。ジェンダー平等もそうだけど、価値観が違う意見をもっている人とぶつかるから、まずは1人で取り組んでいった方がいいんじゃないかなと思って。なので、●●さんと同じようなところにいきました。

○7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は技術がないから1人で取り組めないなと思ってたけど、●●さんの意見を聞いて、意外とできるかなって思った。

○じゃあ、考えていこう。

全部達成は難しいかもしれないけど、今自分ができるとして何だろう？

今自分ができるとして何だと思う？

多分みんなはこの何時間でSDGs調べて勉強してきたわけじゃない？それを是非、理由として挙げてくれるといいよね。

「こういうところが大変だからこういうことしたい」とか。自分が取り組めることって何だろう。これノートに書こう。

○「自分が取り組めること」(板書)自分が取り組めることってこうだよとかいてね。自分はこうだ。

○番号でもいいよ。○番と○番はできそう

○自分だったらこれに取り組んで、今からがんばってみよう。具体策をかこう。

○いいね。しっかり理由がかけているとわかりやすい。

○個別に見て回る。赤ペンでラインを引く。

○なんでそう思ったの？理由がほしい。

○あと30秒にしましょう。

○では、田の字にしましょう。いつも通りナイスアイデアのところは、赤で足していってね。

○さあどう？発表してくれる人はいますか？

○●●さんは得意？

○じゃあこれから大事だね。

○他には？

○身の回りのことからやっていくという

○タブレットを机にしまう。

○番号でもいいですか？

○ノートに書く。

○班で発表し合う。

○「2番の飢餓」はコンビニの募金ボックスがある。100円入れるだけで、注射や食べ物が買えると教科書に書いてあったから、1人でも救えるように募金しようと思う。

○「14番海の豊かさ」は海にゴミを捨てない。物を大切に使う。「2番」は、世界中の人に与えることはできないけど、食べ物を残さないとか、毎日気をつける。団体とかじゃなくても取り組めることを少しずつ取り組んでいく。

○発表が終わった班から元の位置に机を戻す。

○5番と10番なんですけど、自分の考え方の偏見をなくしていけば、差別をなくすことにもつながる。

○う～ん。。

○13番。具体的な対策としては、レジ袋を断るとか、エアコンの温度を気をつけるとか、身の回りのことからできると思う。

ことね。では●●さん。

○その他いかがですか？●●さんどう？

○ほお何で？

○今やっている？

○もっとしっかりやっていくということね。

○他には？

○何でそう思ったの？

○なるほど、では●●さんどうでしょう。

○なるほど。ではあと1人。●●さんどう？

○マークって何？

○ほお～

○どう、今挙げてもらったことってできる？じゃあこういうことから、SDG sの取り組みは、みんなができるということだね。

ちなみに、先生も教室の中でやっているんだけど、分かる？

○給食の時間にやっているよ。

○ほら、ちゃんとみんなに食べてもらっているでしょ。

○食器もちゃんときれいにしているでしょ。それってこういうのに繋がっていかない？それを見てみんながね、ああ大事だなと思ってくれたら広がるじゃないですか。

○ということで、先生もやっているのですよ。みんながね取り組んでくれるといいですね。

○では最後に、前に見せた動画の続きがあるので見せたいと思います。

○じゃあ、みなさんも是非、自分たちのできることから始めてみましょう。

では、授業を終わります。

○1番とか、2番かな。ユニセフとかのコンビニにある募金箱に募金して、少しでも貧困をなくせたら。

○ゴミを分別してリサイクルする。

○リサイクルできるから。

○まあ、一応。

○14番。台東区は海がないけど、川とかはあるからゴミ拾いをしたらいい。旅行先でも隙間時間で、少しでもきれいになるようにゴミを回収する。ちょっとでも海が豊かになればいいなと思った。

○すぐできるんだったら、自分たちが簡単にできることをしたいなと思った。

○2番で、食料を無駄にしない、買いすぎない、すぐに捨てないとか。食品ロスをなくす。

○ぼくは12番です。物を大切に使ったり、マークを見たりして買う。

○地球に優しいマークがついている商品を買う。

○植物？リサイクル？

○ストロー？

○あ～！

○うんうん。

○確かに。

○あ、あれの続きか。

○ユニセフのSDG sの動画を見る。